

第2次熊本市生涯学習推進計画（素案）に対するパブリックコメントの結果について

市一2

令和6年3月 文化市民局生涯学習課

Ⅰ パブリックコメントの結果（意見募集期間：令和5年（2023年）12月22日～令和6年（2024年）1月22日）

● 意見の提出状況 意見を提出された方の人数 5人 意見の件数 20件

● 意見への対応状況

【対応1】補足修正	3件	【対応2】既記載	12件	【対応3】説明・理解	3件
【対応4】事業参考	2件	【対応5】その他	0件		

意見の内容（抜粋）	対応策（案）
【20ページ】 消費者センターで実施され受講証明書を発行している、「熊本市消費生活地域見守りサポーター養成講座」は、「消費者セミナー、出前講座」と目的が異なることから追加をお願いしたい。 消費者被害防止に関する知識を学ぶことは家族や仲間などの財産を守る取組であるので受講者を増やす取組は重要である。	いずれも、消費者被害の未然防止を目的として実施していることから、「消費者セミナーや消費生活に関する出前講座などの開催」に修正します。
【28ページ】 現在、各消防署に於いて実施されている普通救命講習、上級救命講習が記載されていないので追加をお願いしたい。 心肺蘇生法や応急手当を学ぶことは家族や仲間などの命を守る取組であるので受講者を増やす取組は重要である。	救命講習は、活躍の場の拡充も重要と考えますが、まずは講座を充実させることが必要と考えるため、学習内容の充実の取組項目⑤「現代的・社会的な課題や市民ニーズに対応する学習内容の充実」に「普通救命講習や上級救命講習の開催」を追加します。
【32ページ】 行政と地域住民がまちあるきを通して作成する地域版ハザードマップ作成をしていない校区が多数あるので、地域版ハザードマップ作成の追加をお願いしたい。	ご意見のとおり「地域版ハザードマップ作成の促進」を追加します。

2 検証指標の設定

令和5年度の熊本市総合計画市民アンケート結果が示されたことを受け、検証指標の基準値及び検証値を設定した。

検証指標	基準値 (R5)	検証値 (R9)	検証値 (R13)
ア 生涯学習が自らの向上に役立ったと思う市民の割合	68.4%	77.0%	85.0%
検証指標	基準値 (R1)	検証値 (R9)	検証値 (R13)
イ 学習を通じて新たな仲間づくりができた市民の割合	24.1%	33.0%	50.0%
ウ 学習を通じて地域の活動やボランティア活動に参加した市民の割合	12.2%	18.0%	30.0%

(参考) 令和5年度の結果

検証指標イ：16.5%

検証指標ウ：6.1%

※検証指標イ、ウについては、令和5年度のアンケート結果が新型コロナウイルス感染症の影響で低下しているため、令和元年度のアンケート結果を基準値とする。

3 今後のスケジュール

3月14日 教育市民委員会にてパブリックコメントの結果を踏まえた計画最終案の報告
3月下旬 教育委員会会議にて計画の決定
令和6年度以降 本計画に基づく生涯学習の推進

提出されたご意見とそれに対する本市の考え方

項目	ご意見等の内容	本市の考え方	対応内訳
素案全体に関する こと	表紙を含め、文字だけのお堅いイメージの役所の計画とは異なり手に取って読んでみたいと思えて良い。また、ダイジェスト版のほうもすごろくのように見やすくされており、大学生である自分も興味を持ちやすいのかなと思う。	市民の皆様の目に留まりやすく、興味を持って手に取っていただけるようデザインしました。より多くの皆様に生涯学習を身近に感じていただければと思います。	対応2 既記載
	新規で今回から取り入れられた素晴らしい取組だと思うので、[新規]とつけるだけでなく、もっと強調したりほかのページ等にまとめたりするとアピールしやすいのかなと感じた。	いただいたご意見については、計画を周知していく中で参考とさせていただきます。	対応4 事業参考
現状と課題に関する こと	【5ページ】 生涯学習を取り巻く現状と課題について、4項目の現状分析があるが、その要因が記されずに、今後の方向性について記されている。やはり、現状のそれぞれの要因や理由を分析表示すべきではないか。その事で、受講者も一体となって、考慮の気持ちが生まれると考える。	4、5ページの実績を踏まえ、分析結果と課題を6ページに整理しています。	対応2 既記載
	【6ページ】 「今後、増加する高齢化や障がい者、外国人等の様々な立場・状況の市民に対して学習の機会を提供し、ウェルビーイングの向上に取り組みます。」等の項目を追記すべきと思う。 （今後の社会情勢の変化を見据えた対応が必要）	本市としても、様々な立場・状況の市民に対して学習を提供していく必要があると考えています。そのため、9ページの本市が目指す生涯学習の姿として、様々な立場の人たちが利用できるように取り組むこととしています。	対応2 既記載

現状と課題 に関する こと	【９ページ】 「不安な思いを解消するな ど」は「不安な思いや高齢や障 がい言語等による学習機会が 阻害される社会的障壁の解消 に努め」等の表現が望ましいと 思う。	社会的障壁の解消にとどまる ことなく、幅広く捉えていただ くために、現状のままとさせて いただきます。	対応３ 説明・理解
基本施策に 関すること	【１０、１１ ページ】 本市が目指す生涯学習の姿 と基本理念について、素晴らしい 理念と思うが、基本施策３ 「基本施策１及び２を実行す る為の場所や環境を提供す る。」の追加を要望する。	場所や環境の提供について は、基本施策１の「学習環境の 整備」に含まれています。	対応２ 既記載
	【１１ ページ】 「デジタル化の推進など」は 「デジタル化の推進による学 習する機会を阻害する様々な 社会的障壁の解消など」等の表 現を追記すべきと思う。	社会的障壁の解消にとどまる ことなく、幅広く捉えていただ くために、現状のままとさせて いただきます。	対応３ 説明・理解
取組項目に 関すること	【１２ ページ】 体系図の【学習環境の整備】 に「④高齢や障がい、言語等 による学習機会の阻害要因の解 消」を追記すべきと思う。	いただいたご意見について は、生涯学習を推進するうえで 重要であると考えています。そ こで、この計画では、高齢者 については取組項目④「ライフ ステージに応じた学習内容の充 実」の中で整理し、障がい者 については取組項目⑥「多様性 に関する生涯学習の推進」の中 で整理しています。	対応２ 既記載
	【１２ ページ】 体系図の【学習内容の充実】 取組項目⑤に「○社会的弱者対 策」を追記すべきと思う。		
	【１２ ページ】 【学習環境の整備】に、身体 の不自由な方でも気軽に参加 できる環境整備を追加する。		
	【１９ ページ 取組項目⑥】 「○社会的弱者対策」を追記す べきと思う。（現代的・社会的な 課題として、社会的弱者への対 応が必要と思う）		

取組項目に関すること	【12 ページ】 取組項目①～⑨に加え「⑩高齢や障がい、言語等による学習機会の阻害要因の解消」を追記すべきと思う。 1 テキストや資料のフォントや色、ふりがな等の工夫 2 点字、音声テキスト 3 学習会場のバリアフリー化 4 翻訳ソフト等の活用 5 講座会場選定や開始時間の工夫	いただいたご意見については、取組を進める中で参考とさせていただきます。	対応4 事業参考
取組内容に関すること	【17～20 ページ】 当市では 2016 年の熊本地震のほか、梅雨時の多量の降雨や台風来襲期の豪雨も多く、白川や緑川などの洪水災害が繰り返されてきた。また山地や台地周辺部の急傾斜部では土砂崩れの危険性もある。 当市では、今後も生命・身体および財産にも関わる災害が発生する可能性があること、そしてその安全安心対策等については、取組項目 5「現代的・社会的な課題や市民ニーズに対応する学習内容の充実」だけでなく、取組項目 4「ライフステージに応じた学習内容の充実」として必須の学習事項として取り扱うことも重要と考える。	安全安心対策等については、ライフステージにおける必須の学習事項として重要だと考えています。そのため、この計画では、主たる取組として取組項目⑤「現代的・社会的な課題や市民ニーズに対応する学習内容の充実」に位置付けています。	対応2 既記載

取組内容に関すること	【20 ページ】 消費者センターで実施され受講証明書を発行している、「熊本市消費生活地域見守りサポーター養成講座」は、「消費者セミナー、出前講座」と目的が異なることから追加をお願いしたい。 消費者被害防止に関する知識を学ぶことは家族や仲間などの財産を守る取組であるので受講者を増やす取組は重要である。	いずれも、消費者被害の未然防止を目的として実施していることから、「消費者セミナーや消費生活に関する出前講座などの開催」に修正します。	対応 1 補足修正
	【19、20 ページ】 取組内容 1～15 に加え「様々な社会的課題に関する教育」を追記すべきと思う。(例えば ・住宅 ・詐欺等の犯罪 ・相続、終活 ・地域活動等)	様々な社会的課題に関する教育は、取組項目⑤「現代的・社会的な課題や市民ニーズに対応する学習内容の充実」として整理しています。例示されている具体的な取組については、今後内容の拡充に取り組み、評価シートにおいて管理していきます。	対応 2 既記載
	【22 ページ】 学習内容の充実に、国際交流会館を活用して、海外からの来熊者への学習内容の提供を追加する。	国際交流会館を活用して、22 ページに記載している「日本文化体験」や「地域日本語教育」などを取り組んでいます。	対応 2 既記載
	【28 ページ】 現在、各消防署に於いて実施されている普通救命講習、上級救命講習が記載されていないので追加をお願いしたい。 心肺蘇生法や応急手当を学ぶことは家族や仲間などの命を守る取組であるので受講者を増やす取組は重要である。	救命講習は、活躍の場の拡充も重要と考えますが、まずは講座を充実させることが必要と考えため、学習内容の充実の取組項目⑤「現代的・社会的な課題や市民ニーズに対応する学習内容の充実」に「普通救命講習や上級救命講習の開催」を追加します。	対応 1 補足修正

取組内容に関すること	【28 ページ】 基本施策2に、「行政、市民、民間などで、テーマを設定し、ワークショップ等を行い、3者共同で、多種多様な意見を提案する」を追加する。（これ自体が生涯学習となる。）	本市では、市民共同参画の推進に取り組んでおり、各取組を実施する中で市民の参画を促しています。ご意見のようなワークショップも取り入れながら、市民参画の場を広げていきます。	対応3 説明・理解
	【32 ページ】 行政と地域住民がまちあるきを通して作成する地域版ハザードマップ作成をしていない校区が多数あるので、地域版ハザードマップ作成の追加をお願いしたい。	ご意見のとおり「地域版ハザードマップ作成の促進」を追加します。	対応1 補足修正
	【32 ページ】 災害に強い地域コミュニティづくりの推進のための掲載いただいている取組内容に賛同する。一方、今般の大規模災害により地域コミュニティの崩壊が報道されており、災害後の持続的なコミュニティの存続を図るために、初期・応急対応期ばかりではなく、復旧・復興期の視点も踏まえた取組を行うべきと思慮する。	現在記載している各取組は、復旧・復興期も含むものとして、地域で力を合わせて活動できるよう支援しています。	対応2 既記載